

## 「十字架と復活による変化」

復活—②  
ルカの福音書 24:13～47  
ヨハネの福音書 20:1～23

ある人が「私は罪深い者です。私のような者でも赦されるのでしょうか？」と牧師先生に尋ねた。すると「もし私たちが罪人でなかったら、主は十字架に架からなくてもよかったでしょう。しかし私たちがどうしようもない罪人だからこそ、主は十字架に架かって下さったのです」と答えられた。

ユダヤ人は代々律法に従って生きてきた、律法に従う自分は善い者だと思い、心の奥の罪に気づかないことが多い。主に選ばれた弟子たちも同様である。しかし主の十字架の苦難の前に、彼らは裏切り、隠れ、主を見殺しにしてしまった。彼らは自分の本質がどうしようもない罪人であると分かったが、後悔する外どうすることも出来なかった。

しかし、主は十字架で全ての罪人の代わりに、罪人の受ける裁きと罰を一身に受け、完全な救いを与えられ、人類の罪の歴史に大きな十字架の区切りを付けられたのである。

復活の主は弟子たちを裁く必要がない。ただ彼らが悔い改め、主を信じ受け入れ、明け渡すことにより、主のご聖霊は働かれ、彼らの心を全く変え、主の使徒とされたのである。

### [聖書の学び]

#### I、復活の主に出会った弟子たち (最初の日曜日)

##### 1、ペテロの場合

①主イエスが復活されたと女たちから聞いた時、どうしましたか？

(ヨハネ 20:1～10)

②ここから皆の所へ帰った後、復活の主に出会った。 (ルカ 24 : 34、I コリント 15:5)

##### 2、エマオの途上のクレオパともう一人の弟子の場合

①安息日が開けて、エマオへ出かけた——復活を信じられない (ルカ 24 : 13～24)  
(朝出発前に、女たちが復活の主に出会った事を聞いていた)

②復活の主は彼らの不信仰を嘆かれる

(ルカ 24 : 25～32)

③目が開かれ、復活の主だと分かって、エルサレムに戻り、どうしましたか？

(ルカ 24 : 33)

3、復活の主は、ユダヤ人を恐れて隠れている弟子たちにどのように  
されましたか？ (ヨハネ 20 : 19)

①弟子たちを見られる復活の主の顔を見て、弟子たちはどう反応しましたか？  
(ヨハネ 20 : 20)

②復活の主は弟子たちにこれからどうするように言われましたか？  
(ヨハネ 20 : 21、23)

③遣わされるために必要なのは、何でしょうか？ (ヨハネ 20 : 21)

## Ⅱ、復活の主の御姿

1、復活の主はどのような姿なののでしょうか？ (ルカ 24 : 36~47)

- ①ユダヤ人を恐れて戸が閉まっているのに入って来られる栄光の体
- ②おられたかと思うと、見えなくなる・・・自由自在の体
- ③さわって、よく見なさい・・・肉や骨がある体—— 幽霊ではない
- ④手や足と脇腹を見せられた・・・釘の跡（穴が開いたままであるのに生きている）
- ⑤焼いた魚を食べる事もできる。

2、新天新地において、私たちもこのような栄光の姿に変えて  
頂くことができる。 (Ⅰヨハネ 3:2)

## Ⅲ、十字架と復活の意味

1、Ⅱコリント 5 章 14~15 節を読みましょう。主の十字架はどのよ  
うな意味があるのでしょうか？

- ①私たちの罪の身代わりに死んで下さった = 私の身代わりに死んで下さった。
- ②キリストが死なれたのは = 私が死んだのと同じである
- ③キリストが復活されたのは = 私の内に復活の主が生きて下さるためである  
(キリストのために生きる)

\* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 主イエスの十字架と復活を信じることにより、あなたにはどのような変化が与えら  
れましたか？